

経営比較分析表（平成28年度決算）

愛知県 愛西市

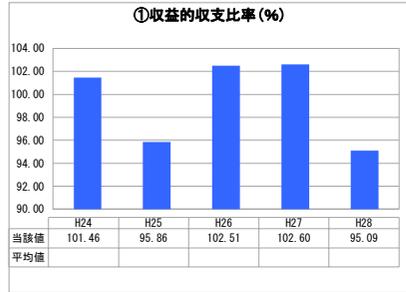
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	24.01	100.00	4,682

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
64,239	66.70	963.10
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
15,347	10.63	1,443.74

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

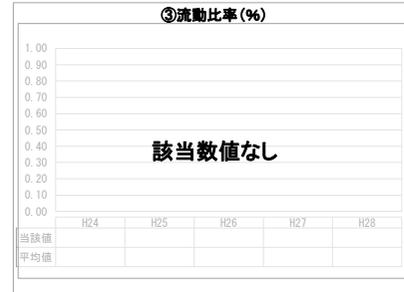
1. 経営の健全性・効率性



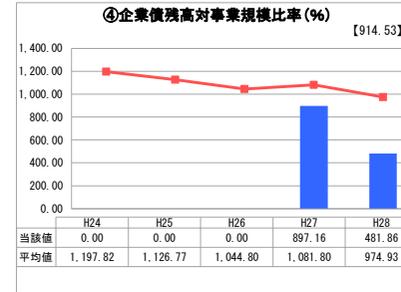
「単年度の収支」



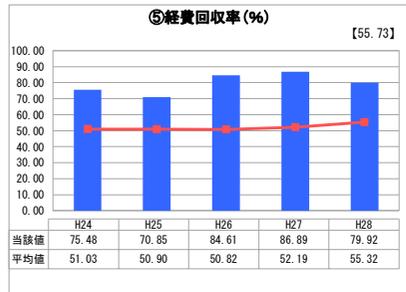
「累積欠損」



「支払能力」



「債務残高」



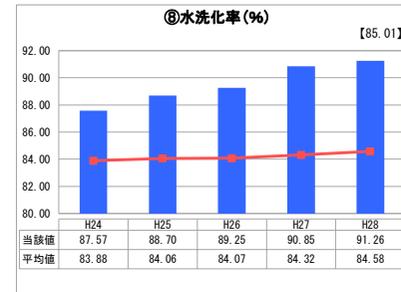
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

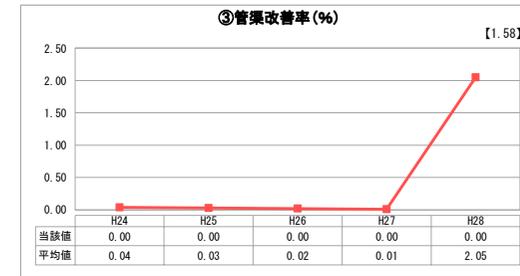
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

【①収益的収支比率】
処理場における修繕費用の増加に伴う総費用の増加及び人口減による総収益の減少により、前年より7%減となった。修繕費用が平準化となるよう修繕計画を見直す必要がある。

【④企業債残高対事業規模比率】
類似団体及び全国平均より低い比率である。企業債年度償還は平成3年を境に減少傾向となるが、大規模修繕及び機能強化工事を計画的に行う必要がある。

【⑤経費回収率】
類似団体平均値及び全国平均より高い比率である。汚水処理費が前年より増加し、使用料はほぼ横ばいのため、比率では前年より7%ほど減となった。

【⑥汚水処理原価】
類似団体平均値及び全国平均より安い原価となっている。汚水処理費は増加、年間取水量はやや減少であるため、原価としては前年と比較すると高くなっている。

【⑦施設利用率】
類似団体平均値及び全国平均を下回っているが、年々当該値は少しずつではあるが増加している。今後の接続世帯数を考慮し、処理容量を的確に把握する。

【⑧水洗化率】
類似団体平均値及び全国平均を上回っている。新規整備は行っていないが、毎年新規及び既存世帯の接続工事申請があるため、少しずつ比率が上昇している。

2. 老朽化の状況について

法定耐用年数を超えた施設はないが、供用開始から約20年が経過しており、今後、劣化や腐食等によるリスクの回避や、計画的な修繕・改築をしていくため、点検・調査計画を策定していく。

全体総括

平成28年度は修繕工事等の増加に伴い収益的収支比率が100%を切っており、赤字経営と言える。供用開始から約20年が経過し、水洗化率は90%を超えたが、今後予想される一般会計繰入金金の減少や、施設の老朽化による修繕費用増加が見込まれるため、平成28年度に策定した経営戦略に基づき、より一層の接続向上や汚水処理費の削減に取り組む必要がある。

また、経費回収率の向上や、汚水処理原価が愛西市の目標に到達することが見込めない場合は、今後使用料を見直し、適正な料金収入の確保を進めていくことが必要であるといえる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。